私たちは、自信をもって推薦します。

国・県・各町の繋がりで、スピード感をもって事業の推進。

自由民主党　副総裁
衆議院議員 麻生 太郎

松本國寛県議には、6期24年間、福岡県議会議員として地元遠賀郡はもとより福岡県発展のため多大なるご尽力をいただいております。また、福岡県議会「自民党県議団」の会長を務められ、抜群のリーダー シップと調整力で、最大会派を見事にまとめておられます。皆様もそのご活躍はよくご承知ではないでしょうか。

遠賀郡内では現在、様々な事業が行われていますが、国・県・各町が繋がり、連携を取ってこそスピード感を持って事業を進めることが出来ます。松本県議は、県の事業はもとより、岡垣バイパス4車線化などの国の事業や各町から寄せられる要望に対して、現場主義を貫かれ、諸課題解決に汗をかかれておられます。今後とも、今日までに培われた経験と実績を糧とされ、政治力を遺憾なく発揮していただきたいと存じます。これからも共に協力し合い、遠賀郡の期待に応えていくためにも、松本県議に対し更なるご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

安定した県政の推進は、県と議会の信頼と連携から。

福岡県知事 服部 誠太郎

松本國寛先生は、24年間にわたり県議会議員として、福岡県、そして地元遠賀郡の発展に尽力されており、その間、第62代県議会議長をはじめ、自民党福岡県議団会長など、数々の要職を歴任されております。

県では、昨年度は、新型コロナ対策関連で19回に及ぶ補正予算を編成し、議会にお諮りしましたが、先生には、対策を迅速かつ的確に進めるべきとのお考えの下、県議会最大会派の会長として、県議会全体をしっかり取りまとめていただいております。また、先生のお力添えにより、道路整備や河川改修など、遠賀郡の社会資本整備も着実に進んでいます。さらに、先生は、農林水産業や地域の商工業の振興、子どもたちの教育の充実など、県政全般にわたり大きな熱意をもって取り組んでおられます。

先生の活動は、まさに私が目指す『おとなも子どもも、安心してたくさんの笑顔で暮らしていける福岡県づくり』につながるものであります。遠賀郡、福岡県の明るい未来のため、松本先生の益々の御活躍を心から祈念しております。

経 歴

昭和38年	山びこ保育園　卒園
昭和44年	遠賀町立島門小学校卒業
昭和47年	遠賀町立遠賀中学校卒業
昭和50年	東海大学第五高等学校卒業
昭和55年	九州東海大学工学部建築学科卒業
昭和61年	衆議院議員三原朝彦秘書
平成11年	福岡県議会議員初当選
平成17年	土木委員会委員長
平成23年	議会運営委員会委員長
平成24年	第62代福岡県議会議長
平成25年	自民党県議団 幹事長
	自民党県議団農政懇話会会長
平成27年	福岡県議会議員 5期連続当選
平成27年	自民党福岡県連 幹事長
平成31年	福岡県議会議員6期連続当選
令和元年	自民党福岡県議団 会長
令和元年	警察委員会　委員

プロフィール

昭和31年10月20日生まれ	
好　　物	地元でとれた農水産物、日本酒
好きな音楽	フォークソング
趣　　味	写真撮影・車
座 右 の 銘	『意志あるところに道は開ける』
家　　族	妻・長女（赤田家）８歳孫
	長男と妻・３歳２歳０歳孫・妹

遠賀郡に育てられ、皆さんに支えられて24年。

初挑戦は、２４年前の卯年。『どんな試験も自分の努力で乗り越えることができる。選挙は皆さんの応援がないとできない。』近所の「おばちゃん」の激励の挨拶。この言葉を忘れることはありません。
これからも私は、政治にあらん限りの情熱を注ぎたいと思っています。

松本くにひろ後援会事務所
〒811-4307 遠賀郡遠賀町遠賀川2丁目1-44
TEL ０９３－２９３－６４２２
FAX ０９３－２９３－７３１２

● 安心できる暮らしのために

- 子ども子育ての充実
- 高齢者の健康・生きがい・安心安全を守る
- 障がいがある人も、安心して暮らせる環境をつくる
- 幼稚園・保育園の教育の充実
- 小・中・高生の学力と体力の向上
- 男女共同参画社会の推進
- 誰もが生きやすい共生社会をつくる
- ワンヘルスの推進
- 人と動物の健康、環境の健全性はひとつ

● 安全な地域生活をつくるために

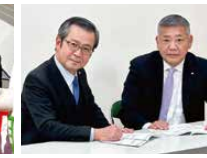
- 防災・減災、県土の強靭化への取り組み
- 地域防災の取り組みと、消防団活動への支援
- 人に優しい街づくりのための社会インフラの整備
- 福岡県警察、最重点目標の達成
  暴力団の壊滅・飲酒運転の撲滅・性犯罪の根絶

● まちが元気に成るために

- 農業・漁業・林業の振興に福岡県・農業団体との連携強化
  農業への新規就農者への支援・後継者の育成、農業経営への支援を引き続き推進してゆくと共に、有害鳥獣対策、漁港の整備や海の資産活用を進めます。
- ６次産業化やブランド化の推進
- 商工業の振興・起業・事業承継と商店街の振興対策
- コロナ禍や物価高騰による傷んだ経済への対策
- 農商工連携による地域ブランドの確立
- 地域地場産業の育成と、企業誘致の促進
- 広域連携で地域振興につなげる
- デジタル化など社会の変化に即応
  デジタル人材の確保と育成

波多野町長と福岡県県土整備部長へ、芦屋港活性化の推進要望。

美浦町長と白石議長、念願の水巻町墳末小前の歩道橋上部構起工式。



古野町長と意見交換。行政サービスの現場は市町村。県と町の連携が大切。

門司町長とともに、県土整備事務所に要望。

信頼の原点は、現場主義。

新型コロナウイルス対策や物価高騰対策など、この３年間は感染拡大防止と社会経済の両立を図るため県と県議会が一丸となって、切れ目のない施策に取り組んできました。
５年連続の豪雨災害への対応など、県民生活の安全安心を守るため、政治が果たす役割の重要性をあらためて感じることとなりました。

私の政治との出会いは昭和61年。衆議院議員秘書として地域の意見や要望を伺い、その解決に汗を流したこと。結果を出せることもあれば、壁にぶつかり結論が出ないことも度々。
尊敬する政治家の助言は、『政治は国家国民のためにある。』でした。

県政運営は、知事と議会の信頼関係から始まります。服部県知事との意見交換は議会ごとに行います。知事執務室にて。

政治のための政治、行政のための行政ではなく、一人一人の生活を守ることが政治と行政の役割。

そんな想いで政治家を志し、平成11年の県議会議員選挙に挑戦初当選。政治への期待と責任の重さを幾たびも経験し、課題の大きさに苦しんだことも!
要望に応えることができたとき、手を取り合って喜んだ!
そんなことを重ね、政治家として24年。
あなたの励ましがあったから!あなたのお叱りに目を覚ましたから!あなたの信頼があったからこその６期24年間。

感染防止・経済対策など各種団体からの要望は、現場の声として、しっかり受け止めます。

国道３号バイパス４車線化など、直轄国に対して要望を出しました。

子ども食堂への運営支援やふるさと納税制度による支援も、現場の声から。

要望や事業推進の調査は、必ず現場に足を運びます。

課題と答えは、いつも現場にある!

現場の声を聞き、現場に足を運ぶことから課題が見えてくる。現場の声を自分のこととして取り組むことで、議論の末に答えが導き出される。
これからも、『現場主義』を貫き、次世代を見据え全力で取り組んでまいります!

いちろの集荷施設の視察。寒い作業施設を、一歩づつ前へ。

「リンリンクラブ岡垣」の建設は、立地調査から始まりました。